

賛助会北信

令和4年3月15日発行
第 136 号
(公財)長野県長寿社会開発
センター北信地区賛助会
発行者：前澤政宏

疫病退散



皆さん、出番です!!

会員の皆さん、息災にてお過ごしのことと思います。日本選手の大活躍が目立ったオリンピックも大会運営には多くの問題を残しながら終了しました。また、引き続き開催されたパラリンピックにおいても多くの活躍に元気をもらいました。オリンピック以外に目

を向けますと、オリンピックの終了を待っていたかのようにロシアのウクライナ侵攻が始まりました。パラリンピックが終了したら今度は中国が動き出すのではないかと危惧しているところです。一方、新年を迎えコロナの新種が猛烈な勢いで私たちを襲いまくっています。さらにまた新手の株が出現しているようです。加えて平成18年以来の豪雪に市民は四苦八苦しています。『もういい加減にして』ですね。

地区賛助会交流行事予定

さて、令和4年度の賛助会活動も間もなく始まります。3年度はほぼ全部の行事を中止としましたが、4年度はスポーツ交流会だけでもコロナの感染防止策をとって完全実施したいと思っています。予定されている種目はマレットゴルフ・ゲートボール・ペタンクです。お待たせしました。皆さん出番ですよ。各支部からお誘いがありますのでご参加ください。しかし「県歌『信濃の国』を巡る旅」はコロナが完全に収束したら実施したいと考えています。

地区賛助会連絡協議会

令和3年度「長野県長寿社会開発センター地区賛助会連絡協議会」が

1月31日に飯山庁舎においてオンラインで行われ、寺島進副会長と参加しました。4年度の事業計画はほぼ例年通り実施される予定です。またセンターでは各団体の代表による「地区賛助会員グループ活動活性化検討会」が行われ、その報告も行われました。

北信地区賛助会では、「会員勧誘促進委員会(仮称)」を発足させる予定でしたが、センターにおいてグループ活動活性化の検討がされているということで、その行方を見守りながらスタートさせる予定でした。しかし当賛助会で目指す会員増に向けて取り組みの参考になる報告が見られなかったため改めて再考していくこととしました。

その他の重要な動き

今年度は役員の任期満了の年です。今年5月には総会を計画しています。そこで承認をいただき正式に発足します。それまでは現役員が任期を継続いたします。

総会では今から講演会の講師をお願いするのは間に合わないので、ステージ発表の時間を設ける予定です。ほかに会員の作品展示場所も設定します。積極的にご参加ください。

新入会員の皆様には招待状をお送りいたします。会員への紹介もありますのでご出席をお願いします。

令和4年度信州ねんりんピック

南信地区が当番です。9月17日(土)に文化・芸術交流会が長野市ホクト文化ホールでオンラインにて実施。高齢者作品展は9月23日(金)～25日(日)まで飯田創造館で、囲碁・将棋大会は9月24日(土)に同じく飯田創造館にて、スポーツ交流大会は10月22日(土)に伊那市内の運動施設で実施する予定で準備が進められています。

コロナ第7波の到来も心配されるところですが、収束を願いつつ体調を整え、手ぐすねを引いて待ちましょう。